



# 九月 (小)

ながつき

## 長月

房宿 (九月八日白露の節より月命癸酉一白水星の月 暗剣殺北の方)

旧八月大 九月大

| 日   | 曜日 | 干支   | 九星 | 行事                          | 旧暦 | 六輝 | 中段  | 其宿 | 下段   | 日出   | 入出    | 満潮    | 干潮    |
|-----|----|------|----|-----------------------------|----|----|-----|----|------|------|-------|-------|-------|
| 1日  | 月  | きのと  | み  | 二百十日、関東大震災記念日、防災の日、三隣亡、旧八月大 | 八  | 先負 | たいら | 張  | ぢう日  | 5.13 | 11.09 | 8.51  | 2.24  |
| 2日  | 火  | ひのえ  | ね  | ●上弦二〇時一分、富山八尾風の盆、一粒万倍日      | 九  | 佛滅 | さだん | 翼  | ●    | 5.13 | 12.07 | 8.51  | 2.24  |
| 3日  | 水  | ひのと  | う  | 不成就日                        | 十  | 大安 | とる  | 軫  | ●    | 5.14 | 13.06 | 22.40 | 15.12 |
| 4日  | 木  | つちのえ | ら  | 敦賀氣比神宮祭、小つち                 | 十一 | 赤口 | やぶる | 角  | ●    | 5.15 | 14.02 | 23.50 | 16.43 |
| 5日  | 金  | つちのえ | ら  |                             | 十二 | 先勝 | あやぶ | 亢  | 神よし  | 5.16 | 14.04 | 23.50 | 16.43 |
| 6日  | 土  | かえ   | た  |                             | 十三 | 友引 | なる  | 氐  | 天おん  | 5.16 | 15.07 | 20.18 | 21.14 |
| 7日  | 日  | か    | と  |                             | 十四 | 先負 | おさん | 房  | 天おん  | 5.17 | 16.32 | 15.47 | 22.01 |
| 8日  | 月  | みづのえ | ま  | 白露二時一分、十五夜、太田呑竜開山忌          | 十五 | 佛滅 | おさん | 心  | 大みやう | 5.18 | 17.15 | 16.52 | 22.43 |
| 9日  | 火  | みづのえ | ま  | ●望一〇時三十分、重陽、多賀大社九月古例祭、救急の日  | 十六 | 大安 | ひらく | 尾  | ●    | 5.19 | 17.58 | 17.58 | 23.23 |
| 10日 | 水  | きのえ  | さ  | 十方ぐれ入り、一粒万倍日                | 十七 | 赤口 | とる  | 箕  | 神よし  | 5.19 | 18.36 | 17.51 | 23.23 |
| 11日 | 木  | きのえ  | と  | 二百二十日、東京大神宮しょうが市(21日迄)、不成就日 | 十八 | 先勝 | た   | 斗  | 月とく  | 5.20 | 19.17 | 18.36 | 23.23 |
| 12日 | 金  | ひのえ  | い  | 福岡宮崎宮放生会(18日迄)              | 十九 | 友引 | のぞく | 牛  | 母倉   | 5.21 | 19.58 | 18.36 | 23.23 |
| 13日 | 土  | ひのと  | る  | 岸和田だんじり祭、世界の法の日             | 廿  | 先負 | み   | 女  | 大みやう | 5.22 | 20.41 | 19.10 | 23.23 |
| 14日 | 日  | つちのえ | ね  |                             | 廿一 | 佛滅 | たいら | 虚  | 大くわ  | 5.22 | 21.28 | 19.37 | 23.23 |

残暑はまだまた厳しいが、それでも月半ばを過ぎると朝夕涼気を感じよう。この季節、夏場の疲れが表面化したり、暑さのために消化器系統が弱っていたり、とかく健康を害しやすい。健康管理に十分に留意しないと、思わぬ重病になることがある。

また立春から数えた「二百十日」や「二百二十日」があるが、これは農作(稲の開花期)と台風の関係を表している、注意を喚起するようにしたわが国独特の呼称である。

【冠】九月九日は五節句の最後、「重陽(九)という数字を陽数とした陰陽術による」の節句といふ。またの名を「菊の節句」と呼ぶように、この日は酒に菊花をひたして飲み、健康長寿を祝うならわしも伝えられている。

【婚】この月から秋の結婚シーズンが始まる。挙式に続く新婚旅行にも快適な気候である。ただ、それだけ

でも心労が重なった直後だけに、ハードなスケジュールは極力避け、一生の思い出にぜひ心楽しい旅行をいただきたいものである。

【葬】彼岸入りから彼岸明けまでの「秋分の日」を中心とした七日間が秋の彼岸である。先祖に感謝し精霊の供養や墓前の香華の手向け等を行う。暑さ寒さも彼岸まで、暑さの峠もまず越えたものといえよう。

【祭】九月一日は「防災の日」これは大正十二年のこの日関東一円を襲った大地震によって、未曾有(みぞう)の災害が出たために定められた日である。

この月の下旬、旧暦八月十五日は「十五夜の望月」というのは、七月を初秋と八月を仲秋、九月を晩秋といい、その八月の十五夜が満月だからである。

【敬老の日】九月三日(旧暦八月十五日)は「敬老の日」九月三日(旧暦八月十五日)は「敬老の日」九月三日(旧暦八月十五日)は「敬老の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

【秋分の日】秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」

| 日   | 曜日 | 干支   | 九星 | 行事                           | 旧暦 | 六輝 | 中段  | 其宿 | 下段   | 日出   | 入出    | 満潮    | 干潮    |
|-----|----|------|----|------------------------------|----|----|-----|----|------|------|-------|-------|-------|
| 15日 | 月  | つちのえ | う  | ●敬老の日、老人の日、京都石清水八幡宮祭         | 廿二 | 大安 | さだん | 危  | 母倉   | 5.23 | 17.49 | 22.13 | 14.22 |
| 16日 | 火  | か    | え  | ●下弦一時五分、鎌倉鶴岡八幡宮やぶさめ、三隣亡      | 廿三 | 赤口 | とる  | 室  | 月とく  | 5.24 | 17.48 | 22.13 | 14.22 |
| 17日 | 水  | か    | と  | 一粒万倍日                        | 廿四 | 先勝 | やぶる | 壁  | ぶく日  | 5.25 | 17.46 | 22.13 | 14.22 |
| 18日 | 木  | みづのえ | つ  | 老人週間(15日、21日)                | 廿五 | 友引 | あやぶ | 奎  | 大みやう | 5.25 | 17.45 | 22.13 | 14.22 |
| 19日 | 金  | みづのえ | と  | 岩手水沢駒形祭、子規忌、天一天上、不成就日        | 廿六 | 先負 | なる  | 婁  | 十し   | 5.26 | 17.43 | 22.13 | 14.22 |
| 20日 | 土  | きのえ  | う  | 彼岸入り、神奈川寒川神社例祭、空の日           | 廿七 | 佛滅 | おさん | 胃  | めつもん | 5.27 | 17.42 | 22.13 | 14.22 |
| 21日 | 日  | きのと  | ひ  | 秋の全国交通安全運動(30日迄)             | 廿八 | 大安 | ひらく | 昂  | ●    | 5.28 | 17.40 | 22.13 | 14.22 |
| 22日 | 月  | ひのえ  | さ  | 動物愛護週間(20日、26日)、一粒万倍日        | 廿九 | 赤口 | とる  | 畢  | 神よし  | 5.28 | 17.39 | 22.13 | 14.22 |
| 23日 | 火  | ひのと  | と  | ●秋分の日、秋分一日は「秋分の日」秋分一日は「秋分の日」 | 三十 | 先勝 | た   | 觜  | 天火   | 5.29 | 17.37 | 22.13 | 14.22 |
| 24日 | 水  | つちのえ | い  | ●朔一五時一分、社日、結核予防週間、不成就日、旧九月大  | 朔  | 先負 | のぞく | 参  | 母倉   | 5.30 | 17.36 | 22.13 | 14.22 |
| 25日 | 木  | つちのえ | ら  |                              | 二  | 佛滅 | み   | 井  | ぢう日  | 5.31 | 17.34 | 22.13 | 14.22 |
| 26日 | 金  | か    | え  | 彼岸明け、和歌山日前・国懸祭               | 三  | 大安 | たいら | 鬼  | 月とく  | 5.32 | 17.33 | 22.13 | 14.22 |
| 27日 | 土  | か    | と  | 小田原道了尊大祭                     | 四  | 赤口 | さだん | 柳  | 母倉   | 5.32 | 17.32 | 22.13 | 14.22 |
| 28日 | 日  | みづのえ | ら  | 三隣亡                          | 五  | 先勝 | とる  | 星  | 大みやう | 5.33 | 17.30 | 22.13 | 14.22 |
| 29日 | 月  | みづのえ | ら  | 曹洞宗兩祖忌、一粒万倍日                 | 六  | 友引 | あやぶ | 張  | 大みやう | 5.34 | 17.29 | 22.13 | 14.22 |
| 30日 | 火  | きのえ  | た  |                              | 七  | 先負 | あやぶ | 翼  | 大みやう | 5.35 | 17.27 | 22.13 | 14.22 |

※昼夜の長さがほとんど等しくなるのは、日本では春分から三日間、秋分から三日後である。